

平成29年度

# 全国学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします

## 小・中学校とともに、全ての教科で全国平均以上！

平成29年4月18日に「全国学力・学習状況調査」が行われました。

### 〔調査内容〕

- 小学校6年生、中学校3年生の全児童・生徒が対象
- 教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科
- 国語、算数・数学に関する調査は、「知識」に関する問題A、「活用」(知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力等)に関する問題Bを出題
- 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

○差が5%未満の場合は「やや高い(低い)」、差が5%以上10%未満の場合は「高い(低い)」

この調査は、教科に関する調査と質問紙調査とで構成されています。児童・生徒の学力の全てを見ることのできるものではありませんが、町内の各学校では、この結果を一つの手がかりとして分析し、成果と課題を明らかにして、今後の教育活動に

生かしていこうとしています。

また、大山町教育委員会では、学校の取り組みの進捗状況を把握しつつ、教科に関する調査と質問紙調査を総合的に分析し、検討を行いながら、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

### 【課題であった算数・数学が、ゆるやかに改善の方向へ】

○小学校6年生(表1)について、大山町の平均正答率は、国語A・B、算数A・Bで全国よりやや高くなっています。

表からは読み取れませんが、小学

	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	算数A	算数B
大山町	77	60	81	48
鳥取県	76	57	77	46
全国	74.8	57.5	78.6	45.9
全国との差	2.2	2.5	2.4	0.1

	平均正答率 (%)			
	国語A	国語B	数学A	数学B
大山町	80	74	65	49
鳥取県	77	72	63	48
全国	77.4	72.2	64.6	48.1
全国との差	2.6	1.8	0.4	0.9

校国語Aの「話す・聞く能力」の観点においては、全国より6.0%高く良好な結果となっています。また、算数Aの「量と測定」領域においても、全国より5.6%高く良好な結果です。

○中学校3年生(表2)について、大山町の平均正答率は、国語A・B、数学A・Bともに全国よりやや高くなっています。

表からは読み取れませんが、中学校国語Aの「読むこと」の領域では、全国より3.5%高い結果となっています。

○算数・数学については全国平均以下であった昨年と比べると全体的にゆるやかに改善しています。課題はありますが、算数・数学を課題の一つとしてとらえ、町内の各小中学校の取り組みが着実に実を結びつつあります。

### 【小中連携を通して、授業改善を】

大山町では、小中学校の連携を進めながら、各学校の授業改善に力を入れていきます。

町独自の学力向上事業である「大山町小中連携学力向上推進事業」に

取り組み、9年間を見通した児童・生徒の育ちと学びについて共通した取り組みを進めています。

また、町教育振興会を活用し、算数・数学部会や外国語・英語部会などの教科部会を開催し、学力向上について、各中学校区や各学校の取り組みの成果や課題について、情報共有し、授業改善等に生かしています。

表3からもわかるように、大山町は友達とともに学び合い、高め合う取り組みについて、国や県の肯定的回答率を上回っています。このことから、学習の課題に対して、児童・生徒が意欲的に取り組んでいることが分かります。

	質問事項	肯定的な回答割合			
		全国	鳥取県	大山町	全国との差
小学校6年生	5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちが立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	77.9	78.1	86.8	8.9
	5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	75.1	75.9	83.5	8.4
中学校3年生	1・2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で自分たちが立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか	74.9	80.5	87.0	12.1
	1・2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	71.3	77.9	79.0	7.7